

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社サトー商会 上場取引所 東
 コード番号 9996 URL http://www.satoh-web.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古山 眞佐夫
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤原 督大 (TEL) 022-236-5600
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	10,261	10.6	298	80.8	344	52.2	239	53.3
2022年3月期第1四半期	9,274	7.7	165	631.6	226	172.3	156	186.6

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 234百万円(48.8%) 2022年3月期第1四半期 157百万円(99.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第1四半期	円 銭 28.71	円 銭 —
2022年3月期第1四半期	円 銭 17.47	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第1四半期	百万円 32,231	百万円 23,736	% 73.6
2022年3月期	31,313	23,627	75.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 23,736百万円 2022年3月期 23,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 30.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,800 ~19,600	1.5 ~5.8	370	21.1	420	4.3	280	4.4	33.57
通期	39,000 ~41,400	0.4 ~6.6	960	12.1	1,020	1.6	690	9.9	82.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期1Q	9,152,640株	2022年3月期	9,152,640株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	812,241株	2022年3月期	812,149株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期1Q	8,340,422株	2022年3月期1Q	8,940,531株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているなか、ワクチンの接種率向上や行動制限の緩和に伴い、外出機会の増加で人流も回復し、経済の持ち直しの動きがみられるものの、急激な円安の進行や原材料価格の高騰に加え、ウクライナ情勢の地政学的なリスクも影響し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと当社グループは、「会社の堅実な運営発展」と「社員の豊かな生活増進」を経営理念とし、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えて原点に立ち返り、2022年度経営方針「市場の深耕拡大」をスローガンとし、顧客訪問と現場フォローの率先垂範を実行するとともに、業種別のサービス力と商品力の強化を行い、営業体制の強化を最優先に市場占有率向上にむけて取り組んでおります。

この結果、売上高102億61百万円(前年同四半期比10.6%増)、営業利益は2億98百万円(同80.8%増)、経常利益は3億44百万円(同52.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億39百万円(同53.3%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、3年ぶりに外出制限のないゴールデンウィーク期間の人流の回復、各種イベントの再開により、特に観光関係中心に回復したことで製菓業種、外食業種、弁当業種中心に伸張し、2022年4月から6月は3ヶ月連続して前年売上高を上回りました。しかしながら、本格的な回復には至っておりませんので、引き続き、新型コロナウイルスの感染再拡大に備え、経費コントロールの強化をするとともに顧客訪問と現場フォローの率先垂範を実行し、営業力の強化を図ってまいります。

この結果、売上高88億91百万円(前年同四半期比11.1%増)、セグメント利益(営業利益)は3億50百万円(同36.0%増)となりました。

小売業部門におきましては、行動制限が緩和され外出機会も増加したことから、消費マインドの回復もみられ、主要顧客である中小飲食店やイベント業者も緩やかに回復をしております。前年度より出店しているツルハドラッグ店舗内店舗として、新たに4月に宮城県1店舗、6月に山形県1店舗の出店をいたしました。当社の認知度の向上、新規顧客を獲得するなど販路拡大に貢献しています。一般消費者に対しては、LINEを活用し、当社オリジナルの業務用食材の簡単活用術「サトショーレシピ」提案の定期的な配信や、メーカーとのコラボ商品「ノリオとナツコ」といったスナック類をSNS上で展開することで顧客への入店行動を促すとともに、引き続き、中小飲食店向けには情報配信による仕入利便性の向上、一般消費者についても定期的な発信をすることでリピーター客の客数、客単価の向上に努めております。

この結果、売上高13億69百万円(前年同四半期比7.7%増)、セグメント利益(営業利益)は96百万円(同45.2%増)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の販売実績を業種別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年同四半期比(%)
卸売業部門		
製菓業種 (千円)	1,652,219	109.9
弁当給食業種 (千円)	977,072	112.9
事業所給食業種 (千円)	819,767	102.9
メディカル給食業種 (千円)	1,196,445	105.4
学校給食業種 (千円)	968,634	93.4
外食業種 (千円)	1,429,957	152.3
惣菜業種 (千円)	1,588,564	107.1
その他 (千円)	259,264	106.5
計 (千円)	8,891,926	111.1
小売業部門 (千円)	1,369,665	107.7
合計 (千円)	10,261,591	110.6

(注) 小売業部門の業種別は該当ありません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ9億18百万円増加し、322億31百万円となりました。これは主に、有価証券の増加によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末と比べ8億8百万円増加し、84億94百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億9百万円増加し、237億36百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払によるものであります。

結果、自己資本比率は73.6%(前連結会計年度末75.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,780,076	1,654,659
受取手形及び売掛金	4,094,851	4,506,145
有価証券	10,600,000	11,700,000
商品	2,206,449	2,340,876
その他	409,107	282,167
貸倒引当金	△21,517	△23,617
流動資産合計	19,068,968	20,460,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,479,790	1,483,863
土地	3,589,079	3,589,079
その他(純額)	727,898	705,957
有形固定資産合計	5,796,767	5,778,899
無形固定資産		
	216,699	202,286
投資その他の資産		
投資有価証券	4,668,094	4,162,226
その他	1,566,873	1,631,433
貸倒引当金	△4,384	△4,050
投資その他の資産合計	6,230,582	5,789,610
固定資産合計	12,244,050	11,770,797
資産合計	31,313,018	32,231,029
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,157,588	5,653,515
短期借入金	683,000	683,000
未払法人税等	147,000	162,000
賞与引当金	359,010	555,514
災害損失引当金	79,749	74,340
その他	905,155	1,024,076
流動負債合計	7,331,504	8,152,445
固定負債		
役員退職慰労引当金	221,610	213,720
退職給付に係る負債	55,222	52,435
資産除去債務	47,713	47,754
その他	29,108	27,800
固定負債合計	353,654	341,711
負債合計	7,685,158	8,494,157

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,744	1,441,744
利益剰余金	21,708,541	21,822,872
自己株式	△999,005	△999,127
株主資本合計	23,557,079	23,671,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,136	38,977
退職給付に係る調整累計額	27,643	26,604
その他の包括利益累計額合計	70,779	65,581
純資産合計	23,627,859	23,736,871
負債純資産合計	31,313,018	32,231,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	9,274,953	10,261,591
売上原価	7,151,012	7,987,566
売上総利益	2,123,941	2,274,024
販売費及び一般管理費	1,958,940	1,975,737
営業利益	165,001	298,286
営業外収益		
受取利息	17,543	19,899
受取配当金	18,029	5,658
持分法による投資利益	8,390	6,360
受取賃貸料	15,564	14,187
その他	6,330	4,376
営業外収益合計	65,857	50,482
営業外費用		
支払利息	510	492
賃貸収入原価	3,761	3,516
営業外費用合計	4,271	4,008
経常利益	226,587	344,760
特別損失		
固定資産除却損	1,653	683
その他	—	55
特別損失合計	1,653	739
税金等調整前四半期純利益	224,934	344,021
法人税、住民税及び事業税	129,105	158,340
法人税等調整額	△60,352	△53,757
法人税等合計	68,752	104,582
四半期純利益	156,181	239,438
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,181	239,438

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	156,181	239,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,318	△4,158
退職給付に係る調整額	△1,050	△1,038
その他の包括利益合計	1,267	△5,197
四半期包括利益	157,449	234,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,449	234,241
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	8,003,004	1,271,949	9,274,953	—	9,274,953
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,003,004	1,271,949	9,274,953	—	9,274,953
セグメント利益	257,621	66,615	324,237	△159,235	165,001

(注) 1. セグメント利益の調整額△159,235千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	8,891,926	1,369,665	10,261,591	—	10,261,591
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,891,926	1,369,665	10,261,591	—	10,261,591
セグメント利益	350,469	96,695	447,165	△148,878	298,286

(注) 1. セグメント利益の調整額△148,878千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。